



導入事例 - 富士通ローンチパッド

富士通ローンチパッドがISO27001を4ヶ月で取得—Vantaを活用し、取得までの期間を83%短縮

Fujitsu Launchpad Limited	<100
日本・東京	Vanta for ISO 27001 , Vendor Risk Management , Access Reviews , Integrations , Trust Center , Vendor Risk
コーポレートベンチャースタジオ／ソフトウェアベンチャー	2023年よりVantaを導入

ISO 27001取得を社内で想定していた期間よりも83%短縮	ポートフォリオ企業を強固なセキュリティ基盤で立ち上げ可能	エンジニアリングチームの稼働を最小限に
---------------------------------	------------------------------	---------------------

“自動的に生成されたTo-Doリストで、今後の予定や次にやるべきことが確認できるので、一週間のスケジュールを組み立てる上で本当に役立っています。”

— アレックス・セイル氏
セキュリティ責任者、富士通ローンチパッド

TL;DR

- 課題: 富士通ローンチパッド(以下FLP)は、グローバル企業の中で活動しながら、事業やエンジニアリングチームに大きな支障をきたすことなく、スタートアップ並みのスピードでコンプライアンスを実現する必要がありました。
- 解決策: FLPはISO 27001の迅速な取得と、強固で汎用性の高いセキュリティ基盤を構築するためVantaを選択しました。

- ROI(投資対効果) : 当初手動による対応で想定していた見積よりも83%速い、実質4ヶ月でISO27001を取得しました。FLPは常に監査準備が整った状態を維持しており、ポートフォリオ企業を強固なセキュリティ体制で立ち上げることが可能になりました。

企業概要

小規模なクリエイティブチームのための土台づくり

富士通ローンチパッド(FLP)は東京を拠点とするベンチャースタジオで、スタートアップ、企業、そして富士通とともに、情報技術の未来を形づくるベンチャーを共創しています。FLPは戦略的に共同で事業をつくるパートナーであると同時に投資家でもあり、立ち上げ初日から実務に踏み込んだ知見を提供して、創業者や企業パートナーがより速く、より遠くへ進めるよう支援しています。FLPは、垂直統合型SaaSやAIエージェント、フロンティア技術、エンタープライズトランسفォーメーション(EX)など、多様な領域でベンチャーを育成しています。

課題

企業のセキュリティにスタートアップのスピードを

富士通には既存の内部セキュリティコントロールがあったものの、FLPは、支援するスタートアップの革新的な取り組みに信頼性を加えるため、国際的に認知されたコンプライアンス基準を示す必要がありました。そこで[ISO 27001](#)の取得を目指すことにしました。

FLPの出発点: 当初FLPのチームは、富士通の内部セキュリティコントロールを基に、ISO 27001の準備はほぼ整っているはずだと考えていました。しかし、それらのコントロールは外部基準に関連付けられておらず、グローバル企業の管理要件とスタートアップに求められる要件の間にギャップがあることが判明しました。

転換点: FLPのチームは、数百ページに及ぶプロセスに埋もれ、何が本当に完了しているのかが見えにくいま、数か月分の作業に直面していました。ポートフォリオ企業を支援し、新しい製品を自信を持って立ち上げるには信頼できるパートナーが必要だと判断し、準拠対応を支援するプラットフォームの検討を開始しました。競合ソリューションも検討しましたが、圧倒的な自動化、可視性、そしてグローバル基準への適合性を備えた市場リーダーであるVantaの選択は明白でした。

“若いスタジオとしてISO 27001を取得していることは、我々に『ストリート・クレジット(信頼と実績)』を与えてくれます。”

— アレックス・セイル氏

セキュリティ責任者、富士通ローンチパッド

Vantaによる効果

自動化されたコンプライアンスで通常業務を妨げない

FLPはISO 27001準拠を迅速に進めるため、Vantaを導入しました。その後、強固なセキュリティ基盤を確立するために、VantaのVendor Risk Management(ベンダーリスク管理)、Access Reviews(アクセスレビュー)、Trust Center(トラストセンター)も導入しました。富士通がVantaをどのように導入したかを紹介します：

Vantaのツールとソリューション	ROI
Vanta for ISO 27001: 明確なタスク管理、タイムライン、進捗率の追跡により、リードーシップの足並みがそろい、ISO 27001に向けて必要なリソースを確保できました。	<ul style="list-style-type: none">より少ない人数と期間でISO 27001に準拠できました。社内では、3名で9~12か月かかると見積もっていました。Vantaを使うことで、1~2名で4か月未満でISO 27001を達成しました。監査が進んでいることにエンジニアがほとんど気づかず、数週間の準備に終わることなく、専門的な業務に集中できました。ポートフォリオ企業の信頼性の向上に繋がりました。スプレッドシートでの管理を減らし、ペネトレーションテストを効率化し、監査日程の調整もスムーズになりました。
Vendor Risk Management: 70社を超えるベンダーと、そのリスクレベルを単一のビューで容易に把握できます。	<ul style="list-style-type: none">各ベンダーを個別に調査する代わりに、Vanta Vendor Exchangeを使ってベンダーレビューを効率化できます。
Access Reviews: 定期的なレビューにより、複数のワークスペースにわたって、利用者が必要な権限だけを保持していることを確認できます。	<ul style="list-style-type: none">ワークスペースをまたいだアクセスレビューを簡単に管理でき、いつでもアクセス状況をより明確にリアルタイムで把握できます。
Trust Center: 見込み顧客がFLPのプロアクティブなセキュリティ姿勢を確認でき、セキュリティ関連ドキュメントをセルフサービスで取得できます。	<ul style="list-style-type: none">Trust Center AIエージェントが内部チームに迅速な回答を提供しますTrust Center上でVanta AIを使い、セキュリティに関する質問に回答できます。

Vantaの導入により、FLPはSayle氏が「ボーイスカウトのような準備体制(Boy Scout readiness)」と呼ぶ、常にコンプライアンス業務に追われることがない、監査に対応できる状態を維持しています。今後は、新たなベンチャー事業やセキュリティ規格を評価するための基盤としてVantaを活用していく計画です。

“監査を行っていることに誰も気づかなかつたことが、私たちにとって何よりの証明でした。”

— アレックス・セイル氏
セキュリティ責任者、富士通ローンチパッド